

「漢語整理案」

(『官報』『附録雜報』に掲載)

(回数) (見出し)

(掲載号)

(発行日)

- ① 漢語整理案の一 第四一六一号 大正十五年 七月 七日(水)
- ② 漢語整理案の二 第四二八八号 大正十五年十二月 八日(水)
- ③ 漢語整理案の三 第四二九四号 大正十五年十二月 十五日(水)
- ④ 漢語整理案の四 第五五号 昭和二年三月 九日(水)
- ⑤ 漢語整理案の五 第一三一号 昭和二年六月 八日(水)
- ⑥ 漢語整理案の六 第一三七号 昭和二年六月 十五日(水)
- ⑦ 漢語整理案の七 第一六七号 昭和二年七月 二十日(水)
- ⑧ 漢語整理案の八 第一七三号 昭和二年七月 二十七日(水)
- ⑨ 漢語整理案の九 第二四三号 昭和二年十月 十九日(水)
- ⑩ 漢語整理案の九(その二) 第二四九号 昭和二年十月 二十六日(水)
- ⑪ 漢語整理案の十 第二八三号 昭和二年十二月 七日(水)
- ⑫ 漢語整理案の十一 第三〇一号 昭和二年十二月 二十八日(水)
- ⑬ 漢語整理案の十二 第四四三号 昭和三年六月 二十日(水)
- ⑭ 漢語整理案の十三(その一) 第五二八号 昭和三年十二月 五日(水)
- ⑮ 漢語整理案の十三(その二) 第五九四号 昭和三年十二月 十九日(水)

① 漢語整理案の一

臨時國語調査會

本案は常用漢字の實行を圖すならしめ、ひいて國語の健全なる發達を促さんがため、常用漢字と假名を用いて文章を書綴り得るよう漢語を整理したものである。尙その草案の出來次第漸次發表して社會の批判を求めるともである。

○印は常用漢字表にないもの

- 一貼。一服一包
- 一輛。一台
- 一遍。一返一度
- 一昨。一目
- 三絃。三味線
- 上梓。印刷出版
- 上肢。腕、手
- 下婢。女中、下女
- 下股。尼
- 下脛。すね、はぎ
- 下瞰。見おろす
- 嚙下。飲み下す
- 不遜。無礼
- 乞丐。乞食
- 攪乱。かき乱す
- 棒事。珍事
- 交機。交驛。交敬
- 人蔘。人參
- 入烟。人煙
- 瘵人。廢人
- 仇讎。がたき、仇敵
- 令閨。奥様、令夫人
- 低徊。低回
- 而今、尔今。これから、今後、以後、自今等
- 信憑。信賴
- 俳諧。俳句、發句

庇保。かばう  
保姆。保母

侵掠。侵略

昏倒。辛倒

瘵兵。廢兵

怯懦。卑怯、廢病

攪拌。かきまぜる

邂逅。めぐり合う

歎歎。なげり泣き

早魃。ひでり

腋窩。わきの下

眩暈。目まい

槓桿。てこ

以上は常用漢字で書きあらわし得ない漢語を部首の順序で集め、その中には現代の文章に用いられないものは捨て、つねに用いられるものを専ら整理したのである。尙全部常用漢字で書きあらわし得ない漢語中、「瘵字」「喝采」「挨拶」のごとく耳で聞いてすぐ理解されるものは假名で書くこととし、その他のものはなるべく整理する方針である。

② 漢語整理案の二

臨時國語調査會

- 安堵。安心
- 彙報。雜報
- 彙集。雜集
- 印。印ろう
- 取。取きず
- 嘆。せき
- 危懼。不安
- 休。休み、休息
- 凝。凝集
- 冠。冠冠
- 繁。繁係
- 關。關位
- 關。關員
- 勤。勤勤
- 引。引引
- 句。句留
- 去。おかくれになる、死去、永眠
- 蹠。蹠つまずく、失敗、失脚
- 參。參籠
- 來。その後、それ以來
- 餘。その他、その外
- 咀。咀のろう
- 合。集合
- 踈。いらたつ、あせる
- 刺。刺じよう刺
- 酌。酌酌、しんしゃく
- 勢。大勢、形勢
- 去。なくなる、死去、永眠
- 協。協(折れ合う)を協
- 勅。勅命(勅旨)

- 痴。人馬鹿、まほう
- 抵。抵觸、ぶれる
- 賭。賭博
- 刀。刀鋒
- 動。動氣
- 孔。ひとみ
- 懷。あこがれ
- 內。御手許金
- 捺。捺印、印を押す
- 排。排排
- 破。破壊、破損
- 分。分せき
- 分。分びつ
- 斧。斧大なた
- 項。項くしゃみ
- 項。項かげろう
- 葡。葡萄
- 兵。兵兵
- 印。印爪印
- 拋。拋棄
- 拋。拋棄
- 助。援助
- 徠。さまよう、うろつく
- 擲。投げすてる、放棄
- 實。實直
- 免。免職、解職
- 勇。勇敢
- 利。利益
- 一。一氣に供す、お目にかける、御笑覧に供す
- 一。一氣に成、一氣に、一いきに
- 一。一握千金、ぬれ手で粟
- 乾。乾坤一擲、一かばちか、乗るか、さるか

(○印は常用漢字表にない文字)



漢語整理案の五

臨時國語調査會

この案はこれまで既に四回発表しているが、今後も引續いて發表するはずである(印は常用漢字にない文字)

陪壁 障壁  
人卦 占卦 占筮  
半殺 半切  
不祥 不吉  
侮 戕 侮辱 侮る  
左記の漢語は整理する

易管 施密 鯨飲 後輩 剋剋 遊音 卓價

○印は常用漢字表にない文字

本案は常用漢字の實行を圓滑ならしめ、ひいて國語の健全なる發達を促さんがため、常用漢字と假名を用いて文章を背綴り得るよう、漢語を整理したものであるが、「鯨字」「幻配」等耳なれた漢語はそのまゝこれを「けいれん」「こう配」等のごとく假名で背くことにした。尚本案の漢語整理はこれまでにすでに三回発表しているが、今後も出来次第引續き發表する積である。

慰 藉 だだめ 慰しや  
衣裳 着物 衣服 衣しよう  
煙(煙) 滅 消滅 もみ消す  
有耶無耶 うやむや  
顯才 英才  
苛(响) 黃 黄め 苦せめ さいなむ  
花卉 草花 花もの  
過剩 過多  
訛傳 誤傳 誤報  
俄然 突然 不意に にかかに  
海嘯 津波 つなみ  
解纜 出帆 出港 船出  
潰亂 ぐずれる ついたる  
拐帶 持ちにげ  
恢復 回復  
街衢 市街  
廓濟 廓正  
摺坐 のり上げる  
嵌入 はめ込む  
奸計 姦計  
寬恕 寛容  
嘆問 呼び出し  
艱難 困難 難儀  
間諜 間ちよう スパイ  
頑冥 頑迷  
眼臉 まぶた  
畸形 不具  
奇裝 不意打  
吃水 舟ちしきつすい  
拮抗 對抗 張り合う

巨擘 大家  
巨擘 大寺院  
凶擘 凶年 不作  
凶擘 凶年 不作  
協心 協力  
協心 協力  
馳名 勇名 武名  
馳名 勇將  
愚痴 末世 世も末  
愚痴 ぐち  
恚怒 怒る なたける  
恚怒 不祥 なたける  
恚怒 谷川  
輕蔑 侮る さいげすむ 輕んじる 侮へつ  
輕蔑 輕薄 浮薄  
勁敵 強敵  
倥偬 けわしい けんそ  
倥偬 だるい だれる うむ  
牽強 付合 ことつける  
噴鼻 騒々しい やかましい  
存族 支那 びいき  
存族 一族 一門  
健啖 大食  
古剎 古寺  
柳塗 生活 くらし じやぎ  
柳塗 さまかす  
痲疾 持病  
沽券 ねうち つけ  
股肱 腹心 片腕  
罔罔 頑固  
巷間 世上 世間  
嗷嗷 職務 怠慢  
嗷嗷 未嘗 有  
矢笑 大笑  
初め はじまり

硬骨 入り交じる  
交錯 入り交じる  
狡智 わるじえ  
鴻業 大業



⑧ 漢語整理案の八

臨時國語調査會

成○ 落成  
 吟○ うめく・うなる  
 酌○ 手酌・手心酌・酌み取る・しんしゃく  
 没○ しみ込む・にじむ  
 進○ 進行はかどる  
 埃○ ちりごみ  
 速○ 神速・急速  
 瘡○ 瘡す・骨折る  
 酒○ 豊旨・じゆんたく  
 涼○ 涼風美俗  
 誰○ 呼びとがめる  
 淀○ 停泊  
 逃○ 逃げ隠れる  
 俳○ うろつく・ぶらつく  
 胚○ きざす・はらむ  
 誹○ そしる  
 紛○ 紛争・騒ぎ・もめ  
 牌○ ならむ・にらまえる・(○印は常用漢字表にない文字)  
 本家は常用漢字の實行を徹底せしめ、ひいて國語の健全なる發達を促さんがため、常用漢字と假名とを以て文章を書き綴り得るよう漢語を整理したものである。たゞ「瘡」は「瘡」を「瘡」等のごとく常用漢字で書けないものでも、耳なれた言葉はそのまゝ、假名で書く積である。なお本案の漢語整理はこれまですでに六回發表しているが、今後とも引續發表するはずである。

些○ わずか・いさゝか・ささい  
 左○ 加担する・味方する・賛成する  
 猜○ 疑い深い  
 錯○ 誤り・間違  
 錯○ 入交じる・込入る  
 参○ 参上  
 讚○ 賛美  
 山○ 山頂  
 仔○ わけしさい  
 搦○ 推測  
 羞○ はにかむ・恥かしさ  
 質○ 質實・しつぱく  
 執○ しつこい  
 吝○ ぜいたく・おごり  
 奢○ さつぱり・あかぬけ  
 酒○ 今般かよう  
 這○ 舟行水運  
 舟○ 停滯はか取らない  
 遊○ ためらう・しりごみする  
 遊○ 守る  
 遊○ 怒るにくだり  
 奉○ 奉ずる・守る  
 所○ つまるところ・しよせん  
 抒○ 叙情詩  
 銷○ 消夏  
 霄○ 雲泥天地  
 霄○ 昇進  
 憤○ しおし・うたごい  
 證○ 證據  
 饒○ 多辨  
 駭○ 色を失う・驚え上る

眞○ まじめ  
 滲○ しみ通る  
 人心○ 人望を得る  
 杜○ 粗漏・ずさん  
 衰○ 衰退・衰える  
 水○ 水泡に歸す・無駄になる  
 正○ 要點を得當る・を失はずれる  
 凄○ ものすごい  
 棲○ すむ  
 掣○ 抑制  
 併○ 同人・同輩・仲間  
 贅○ 駄辯・むだごと  
 噬○ 後悔  
 折○ 折中  
 船○ 船よい  
 僭○ 出過ぎ・せんえつ  
 諛○ たわ言・うわ言  
 銓○ 選考  
 穿○ せんさく  
 少○ 少々  
 戰○ 戦勝  
 洗○ 洗淨・洗う  
 漢○ うらやむ  
 戰○ ふるえる・おののく  
 狙○ おらいうち  
 蔬○ 野菜  
 沮○ 防止・くい止め  
 沮○ 衰える・くじける  
 揮○ さし書  
 撮○ 記者  
 綜○ 総合  
 踪○ 行方所在  
 裝○ 裝釘

伸○ さし入れる・さし込む  
 聰○ 英明・はつめい  
 遜○ 見劣り  
 村○ 推測・あて推量・おしはかる  
 敦○ 篤厚  
 嫩○ 若芽・新芽  
 反○ 反影

⑨ 漢語整理案の九

臨時國語調査會

本案は常用漢字の實行を徹底せしめ、ひいて國語の健全なる發達を促さんがため、常用漢字と假名とを以て文章を書き綴り得るよう漢語を整理したものである。たゞし「痘瘰」「挨拶」「荷荷」等のごとく常用漢字で書けないものでも耳なれた言葉は、そのまゝ、假名で書く積である。なお本案の漢語整理はこれまですでに八回發表しているが、今後も引續發表するはずである。

- 徹断 切斷
- 餞別 はなむけ せんべつ
- 粗飯 粗飯
- 仄間 間けば 間くところによれば
- 唾液 つば つばき
- 打撲傷 うちみ
- 逮捕 捕縛
- 退嬰 しりごみ
- 對峙 對立
- 類廢 荒廢 ずたれる
- 類齡 老齡
- 類誠 心盡 したんせい
- 類顔 赤面
- 彈劾 問責 だんがい
- 斷崖 がけ
- 斷然 きっぱり
- 智袋 ちえ袋
- 治癒 全快 なおる
- 楸密 綿密
- 撰奪 取上げる
- 註解 注釈
- 註文 注文
- 抽籠 くじびき ちゅうせん
- 稠密 濃密
- 厨密 料理人 炊事夫 コック
- 衷心 心から 中心
- 駐屯 駐在
- 駐節 駐在

- 嘲弄 あざける ちやうちやうする
- 貼付 はりつける
- 寵愛 可愛がる ちやうあい
- 痛痒を感ぜず いたくもかゆくもない
- 鄒重 丁重 手厚い
- 蹄鐵 てい鐵 かなぐつ
- 泥濘 ぬかるみ

○印は常用漢字表にない文字 (以下大號)

⑩ 漢語整理案の九 (その二)

臨時國語調査會

- 微宵 終夜 徹夜 夜どろし
- 恬淡 淡泊 あっさり
- 店舖 店 商店
- 縋縋 からまる
- 塗列 整列
- 杜絶 とだえる とまる
- 塗林 ぬりつぶす ぬりけす
- 吐瀉 吐き下し
- 鍍金 めっき
- 土塊 土くれ
- 怒濤 荒波
- 遊目 滞在(とうりやう)
- 勝寫 寫す とう寫
- 勝本 寫し とう本
- 棟梁 頭領 親分
- 登攀 登る よじ登る
- 蕩盡 つかい果す
- 跳梁 はびこる
- 跳躍 はね上る
- 洞穿 看破 見ぬく
- 遁走 逃走
- 内探 内探
- 囊中 袋の中
- 分岐 分れる
- 僻阪 片田舎
- 餘韻 餘音 餘情
- 戮力 協力
- 陋劣 賤劣 下劣

(おわり)

⑪ 漢語整理案の十

臨時國語調査會

- 銷磨 消磨
- 尖端 先端 さき
- 咀嚼 かみこなす
- 挿秧 田植
- 隊伍 隊
- 煖爐 暖爐
- 佇立 たずむ
- 打擲 ながる、打つ、ちやうちやう
- 恬然 平然
- 毒害 害する、毒する
- 徒爾 むだ、無意味
- 禿頭 はげ頭、とんざ
- 訥辯 不辯舌、とつ辯
- 頓挫 くじける、とんざ
- 頓挫 くらます
- 烏々 手くせが悪い
- 竄奔 烏々
- 頓挫 號泣、泣き叫ぶ
- 協哭 狂惡、凶惡
- 協哭 玉突
- 撞球 持つ、つかむ
- 把捉 つかむ、捕える
- 把捉 握る
- 播種 種まき
- 波瀾 波瀾、波路
- 波瀾 惡口、罵る
- 馬蹏 參上
- 拜趨 排斥、おしのける
- 排擠 排出、物排せつ物
- 薄倖 薄幸、不仕合
- 莫大 多大、はく大
- 葛進 突進
- 攀進 よじ登る







